

## 教育学概論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと)

- 1 双方向的な学社連携の在り方を具体的な事例を挙げて述べなさい。(150～200字) (20点)
- 2 教育者としての学芸員の専門性について述べなさい。(150～200字) (20点)
- 3 下記の(1)～(10)の文章を読み、正しいものには○、正しくないものには×を記入しなさい。(各1点)
  - (1) 小学校、中学校、高等学校で使用される主たる教材としての教科書はすべて検定教科書である。
  - (2) ピアジェは「なすことによって学ぶ」(learning by doing)という教育の原理を提唱した。
  - (3) 小学校、中学校、高等学校における学校運営に関する重要課題は、職員会議で多数決によって決定することが原則となっている。
  - (4) 保護者は、その子女を事情によっては小学校に15歳まで就学させることが法的にできることになっている。
  - (5) 教育基本法第4条では、教育の機会均等の理念が示されている。
  - (6) 2008(平成20)年の学習指導要領の改訂では、小学校高学年の教育課程に「外国語」が教科として導入された。
  - (7) 高等学校卒業程度認定試験の合格者には、高等学校卒業の資格が付与される。
  - (8) 現在、盲学校、聾学校、養護学校は特殊教育学校として一本化されている。
  - (9) 経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、政府が支援する制度として、就学援助と教育扶助がある。
  - (10) 小学校、中学校、高等学校の教育職員免許状には、専修、一種、二種の3種類がある。

- 4 の中から適切な語句を選んで（ ）に記号を入れ、下記の文章を完成させなさい。（各2点）

第二次世界大戦直後、日本のすさんだ世相を背景に昭和 20 年代には子どもたちの（ 1 ）が急増し、（ 2 ）の乱用をはじめ、多くの犯罪で子どもたちが検挙された。この事態に、学校教育での道徳教育の徹底が強調され、1958（昭和 33）年に、旧文部省は学習指導要領の改訂を行い、小中学校での（ 3 ）の授業時間数を減らし、（ 4 ）を新設して現在に至っている。また、私立学校では（ 4 ）の代わりに（ 5 ）を設けてよいことが、（ 6 ）に規定されている。21 世紀に入ると、子どもたちの犯罪の突発性や深刻化に直面して、道徳教育の充実が強調され、戦前の（ 7 ）のように、教科化することが議論されている。また、2002（平成 14）年から、心理学者の（ 8 ）を中心に作成された（ 9 ）を、文部科学省は小学校や中学校に配布し、学校で道徳教育の教材に活用されている。2006（平成 18）年に改訂された（ 10 ）では、教育の目標として「道徳心を培う」ことが定められている。

a 逸脱活動 b 問題行動 c こん棒 d 薬物 e 強壮剤 f 公民 g 社会 h 倫理  
i 特別活動 j 道徳 k 信仰 l 宗教 m 教育基本法 n 教育基本法施行規則  
o 学校教育法施行規則 p 修養 q 修身 r 国分康孝 s 河合隼雄  
t 家庭教育手帳 u 心のノート

- 5 次の用語について簡潔に説明しなさい。（各5点）

- (1) 絶対評価
- (2) キャリア教育
- (3) 中等教育学校
- (4) インプリンティング（刷り込み）
- (5) 職業訓練給付金制度
- (6) シグナリング理論